

ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト 投資ファンド2021-04 (限定追加型)

愛称：ビルドアップ型 ポジティブ・チェンジ

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2023年6月27日～2024年6月25日

第 4 期 決算日：2024年6月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、円建ての投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第4期末 (2024年6月25日)

基準価額	11,834円
純資産総額	1,263百万円
騰落率	+9.9%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

※当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。

サステナブル・ファンドとは、ファンドの投資判断プロセスにおいてE S G要素を主要とし、環境や社会の課題解決・改善に寄与する企業等への投資を行い、お客さまの資産形成および持続可能な社会の実現に貢献するファンドとして、三菱UFJアセットマネジメントが定めたファンドをいいます。サステナブル・ファンドへの認定および除外は今後見直す場合があります。

詳細については、委託会社のホームページ (<https://www.am.mufg.jp/corp/sustainability/sustainability.html>) でご覧いただけます。

E S Gとは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取ったものです。

ファンドマネージャーのコメント

■運用のポイント

ベイリー・ギフォードでは1世紀以上にわたって長期的視点での投資を行っており、その中で何度も世界的な危機局面を経験しています。この中で、危機時においても長期的視点を持ち、反射的な投資行動は避けるべきであるということを学んでおり、これは当ファンドにおいても生かされています。

当ファンドでは長期的には株価はファンダメンタルズに従うと考えており、長期的な業績拡大が期待でき、社会に好ましいインパクトをもたらすことが期待できる銘柄については保有を継続しています。

また、インパクト分析の強化や継続的な投資先企業との対話を通じて、持続可能な社会の実現に向けたポジティブな影響を与えることを引き続き目指しています。

■ポートフォリオ概況

主な新規組入銘柄

「EPIROC AB-B」は、鉱業やインフラ産業、天然資源産業で使用される建設機械や鉱業機械を製造・開発しています。同社の手掛ける製品の品質やアフターマーケットビジネスを評価しており、同社が注力する電動化や自動化、デジタル化を通

じて脱炭素化に貢献するとみており、新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

「10X GENOMICS INC-CLASS A」は、急速な革新を続け、空間的遺伝子発現解析で重要な進展を遂げていますが、シングルセル遺伝子発現解析の商業化に苦戦しており、競争環境が急速に変化しているため全売却しました。

■ポジティブ・チェンジ戦略が創出したインパクト (2022年12月末時点)

◎ASML HOLDING NV (平等な社会・教育の実現)

同社の製造する露光装置 (リソグラフィー) は半導体製造において重要なプロセスを担います。同社のリソグラフィーはより短い波長の光を使用することで、より細かい半導体設計を可能とし、トランジスタのサイズを小さくすることを可能にしています。同社の製品は、エネルギー効率の良い半導体製造や、より小型で高性能な電子機器の製造に役立っており、誰もが情報やサービス等にアクセスできるような社会基盤の構築に貢献することを期待しています。

同社は2022年に345のリソグラフィーシステムを

販売しており、この内40が極端紫外線（EUV）リソグラフィシステムです。EUVは、従来より短い波長の光を使用する技術で、同社は世界で唯一のEUVメーカーです。

◎TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO. LTD. (平等な社会・教育の実現)

同社は継続的な投資で半導体の高性能化と低コスト化を実現しています。これはインターネット接続の価格低減とアクセス向上の他、エネルギー効率の向上や、医療の進歩への貢献といったインパクトをもたらしており、誰もが情報やサービス等にアクセスできるような社会基盤の構築に貢献することを期待しています。

同社は2022年に、12インチ換算で1,530万枚のウエハーを出荷しています。

■エンゲージメント (2023年12月末時点)

◎MERCADOLIBRE INC (平等な社会・教育の実現)

同社の最高財務責任者（CFO）と電話会議を実施しました。同社が過去数四半期に亘り、電子商取引の市場シェアを一貫して拡大している要因について議論しました。CFOは、市場シェア拡大の要因として、物流への投資、エンジニアリングチームの拡大、マーケティングの質の向上を挙げました。物流への投資によって、同社は利益を確保しつつ低価格の商品を提供し、対象市場を拡大することを可能にしています。規模の拡大に伴い、営業レバレッジが実現し、同社の利益率は上昇しています。

◎MODERNA INC (医療・生活の質向上)

米国のマサチューセッツ州ケンブリッジで同社の投資家向け広報チームと会談しました。この会談により、同社のメッセンジャーRNA（mRNA）治療における競争優位性について引き続き理解を深めることができました。また、同社がどのように過去の臨床プログラムのデータを利用して、将来の医薬品開発に役立っているかについて議論しました。さらに、脂質ナノ粒子の送達メカニズムに関するデータとノウハウが、どのように医薬品開発の迅速化とコスト優位性に繋がっているかについても議論しました。最後に、同社が社会的インパクトの報告を改善する方法について、ベイリー・ギフォードの見解を伝えました。



ベイリー・ギフォード&カンパニー
パートナー（共同経営者）インベストメントマネージャー
ケイト・フォックス

運用経過

第4期：2023年6月27日～2024年6月25日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第4期首	10,767円
------	---------

第4期末	11,834円
------	---------

既払分配金	0円
-------	----

騰落率	9.9%
-----	------

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ9.9%の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

「TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC」は半導体受託生産を行う大手ファウンドリーです。同社の規模、技術及び効率は今後も半導体の価格低下を可能にし、ひいては多くの業界でイノベーションと環境及び社会面のインパクトの実現を可能にするとみています。また、大手のパートナー企業と長期の良好な関係を築いていることから、コストを抑えながら最新の設備へ投資を続けることが出来ていると考えており、保有しております。同社は人工知能（AI）に関連する銘柄が大きく上昇する中、主要顧客である大手のパートナー企業などからの受注が好調であることや、市場がAIに関連する製品の需要拡大を見込んでいることなどから、同社の株価が大きく上昇し、プラスに寄与しました。

下落要因

「ORSTED A/S」は洋上風力発電施設の開発などを手がけています。同社が手がける洋上風力発電は多くの国にとって重要なエネルギー源となり、同社の規模のメリットと専門性がこうした成長機会を活かして収益を上げることができると考えていました。しかし、同社は2022年に不適切なヘッジ取引により大きな損失を被り、2023年には米国での一部事業からの撤退に伴う多額の損失を計上しました。当期間でも前述の要因などを背景に株価は大きく下落し、マイナスに作用しました。なお、同社の成長の機会は依然残されているものの、同社の経営陣が適切な資本配分や株主に対する長期的な価値を生み出す能力に疑問を持ったことから、期間中に同社を売却しております。

2023年6月27日～2024年6月25日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	158	1.458	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(83)	(0.768)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(71)	(0.658)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	158	1.461	

期中の平均基準価額は、10,819円です。

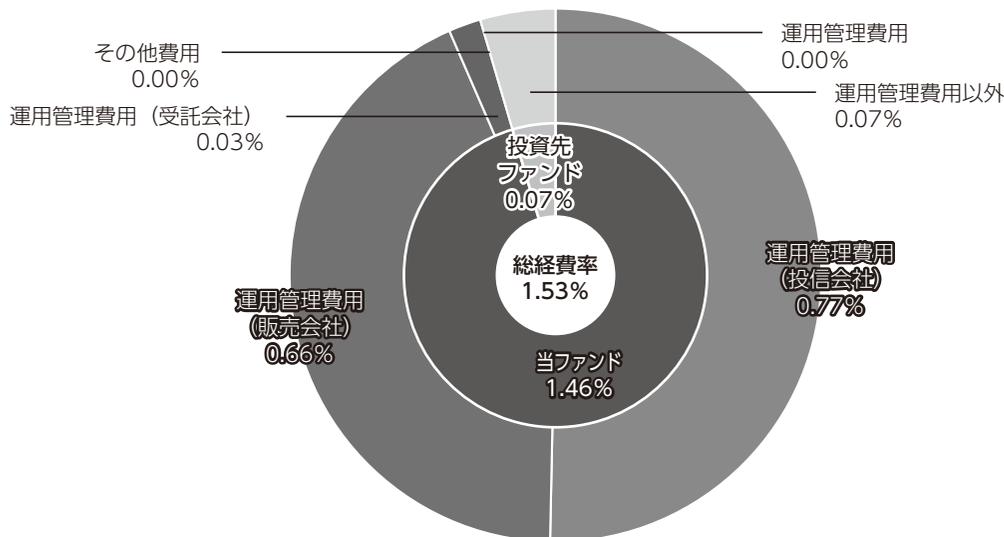
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.53%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.53
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.46
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.07

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

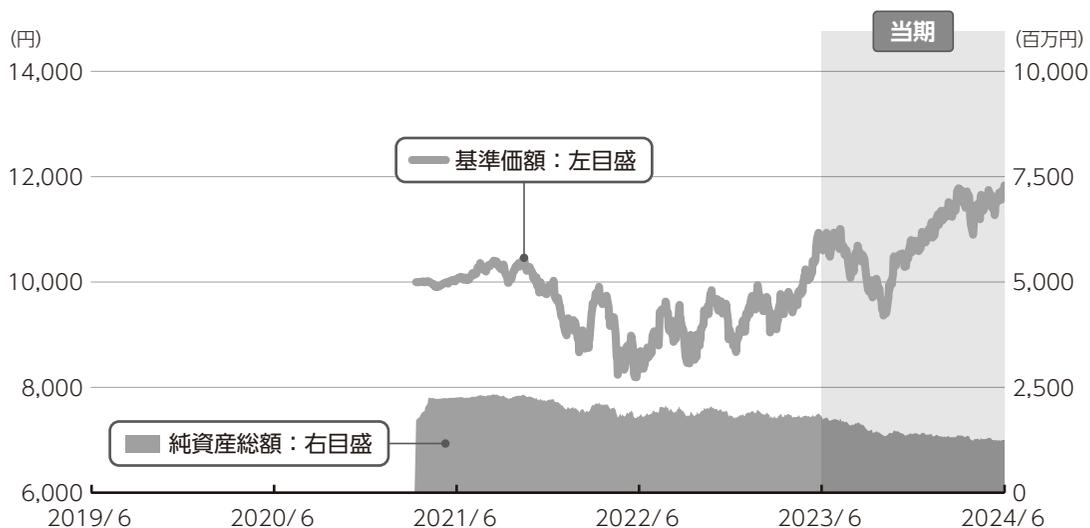
(注) 投資先ファンドの費用の内訳は、投資先運用会社の判断に基づいたものです。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2019年6月25日～2024年6月25日

最近5年間の基準価額等の推移について



最近5年間の年間騰落率

			2021/6/25 期初	2022/6/27 決算日	2023/6/26 決算日	2024/6/25 決算日
基準価額	(円)	—	10,065	8,519	10,767	11,834
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	—	0	0	0
基準価額騰落率	(%)	—	—	-15.4	26.4	9.9
純資産総額	(百万円)	—	2,264	1,836	1,791	1,263

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第4期：2023年6月27日～2024年6月25日

投資環境について

▶ 株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

期間の初めから2023年7月にかけては、米消費者物価指数（CPI）の上昇率が鈍化したことなどを背景に米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ観測が後退したことや、一部企業が良好な決算を発表したことなどから上昇しました。8月から10月にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）で政策金利見通しが引き上げられたことや中東の地政学リスクの高まりなどを背景に下落しました。11月以降は一時的に下落する局面もあったものの、FOMCで2024年以降の利下

げが示唆されたことや一部企業の良好な決算が好感されたことなどから上昇し、当期間を通じてみると上昇しました。

▶ 為替市況

期間の初めに比べ、米ドルやユーロは対円で上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移していたものの、2024年3月に日銀がマイナス金利政策を解除したことにより、期間末には0%を上回りました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド 2021-04 (限定追加型)

株式部分については、設定時から2022年10月までドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行い、その後は高位に組入れることを基本とします。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

日本を含む世界各国（新興国を含みません。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行いました。

■テーマ別組入比率

(現地2024年6月24日時点)

テーマ	比率(%)
平等な社会・教育の実現	44.9
環境・資源の保護	26.4
医療・生活の質向上	22.2
貧困層の課題解決	5.9

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。

※データはベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものであり、運用報告書(全体版)とは異なる場合があります。

当期間の主な新規組入および全売却銘柄は以下の通りです。

主な新規組入銘柄

建設・鉱業機械メーカーの「EPIROC AB-B」などを新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

遺伝子解析技術の提供などを行う「10X GENOMICS INC-CLASS A」などを全売却しました。

ポジティブ・チェンジ戦略のエンゲージメント活動

2023年は、32社の投資先企業との間で96回のエンゲージメントを行いました。これは、ベイリー・ギフォードが企業と頻繁に面談し、経営陣と強固な関係を築いていることを反映しています。

インパクト・レポートおよびポジティブな対話は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/fund/254095.html>) にて開示を行っています。

インパクト・レポートおよびポジティブな対話は当ファンドが投資する外国投資法人の運用に用いられるポジティブ・チェンジ戦略とインパクト・テーマおよびエンゲージメントについて紹介したものです。したがって、ご紹介している内容は当ファンドの投資対象ファンドの内容と異なる場合があります。

また、「ポジティブ・チェンジ戦略への投資が、社会に与えるインパクト」について、当社ホームページ (https://www.am.mufg.jp/lp/positive_change/indicator/index.html) にて紹介しております。

▶ **マネー・マザーファンド**

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第4期
	2023年6月27日～2024年6月25日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,833

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド 2021-04 (限定追加型)

外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券(クラスC・JPY・アキュムレーション)およびマネー・マザーファンドの投資信託証券への投資を行います。

▶ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

引き続き、主として日本を含む世界各国の株式等に投資を行います。

ポートフォリオの構築に際しては、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行う方針です。

景気見通しや地政学リスク、各国の金融当局による金融政策の動向に対する懸念などから、短期的には不安定な相場展開となる可能性があるものの、短期的な株価の変動は長期的な成長が期待される企業へ割安な価格で投資する機会を生むと

考えています。当ファンドの運用については、引き続き、「平等な社会・教育の実現」、「環境・資源の保護」、「医療・生活の質向上」、「貧困層の課題解決」の4つのインパクト・テーマの実現に貢献する事業によって、長期の視点から成長が期待される企業への投資を行う方針です。銘柄の選定に際しては、社会的課題への取り組みや企業の競争力等について徹底的な調査・分析を行う「ファンダメンタルズ分析」と、専門チームが社会や環境への影響度を分析する「インパクト分析」の2つの分析を実施して、ポートフォリオを構築します。

また、「貧困層の課題解決」のテーマでは更なる投資機会を探しています。具体的には、低所得国における起業の円滑化、アフリカにおけるインフラの改善、インドにおける金融包摂の支援等を行う企業を継続的に調査しております。

▶マネー・マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は低位安定した推移を想定していません。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
2023年10月1日より商号を三菱UF Jアセットマネジメント株式会社に変更しました。
(2023年10月1日)

▶ その他

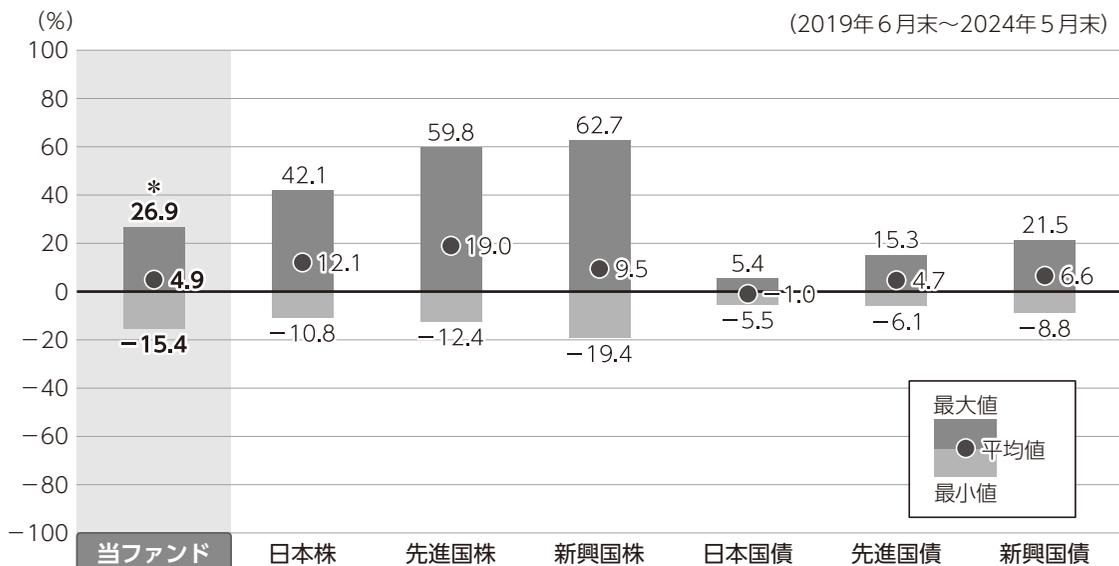
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2027年11月5日まで (2021年4月6日設定)
運用方針	<p>外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券 (クラスC・JPY・アキュムレーション) への投資を通じて、主として日本を含む世界各国 (新興国を含みます。) の株式等 (DR (預託証券) を含みます。) に投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。</p> <p>設定日から2022年10月までは、原則として、株式部分 (外国投資法人の投資信託証券をいいます。以下同じ。) への投資からドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行います。また、株式部分以外は、原則として、マネー・マザーファンドや短期金融資産に投資します。</p> <p>2022年11月以降は株式部分を高位に組入れることを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーションおよびマネー・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション 日本を含む世界各国の株式等を主要投資対象とします。</p> <p>■マネー・マザーファンド わが国の公社債等を主要投資対象とします。 外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	日本を含む世界各国 (新興国を含みます。) の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)</p>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2019年6月から2024年5月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2022年4月～2024年5月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2024年6月25日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第4期末 2024年6月25日
ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファン ドークラスC・JPY・アキュムレーション	98.5%
マネー・マザーファンド	0.0%

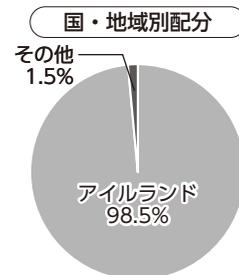
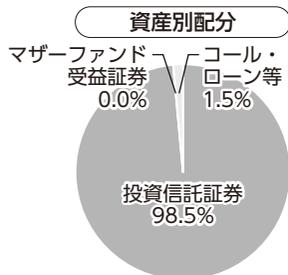
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

純資産等

項目	第4期末 2024年6月25日
純資産総額 (円)	1,263,709,241
受益権口数 (口)	1,067,889,148
1万口当たり基準価額 (円)	11,834

※当期中において追加設定元本は 0円
同解約元本は595,785,370円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

2023年9月30日現在

組入上位ファンドの概要

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

基準価額の推移

2022年9月30日～2023年9月30日



基準価額の推移以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド」ベースで表示しています。

1万口当たりの費用明細

2022年10月1日～2023年9月30日

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

組入上位10銘柄

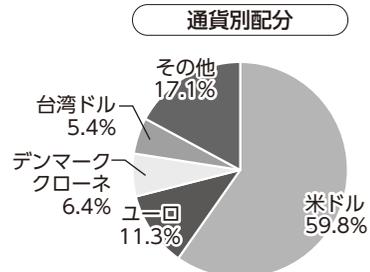
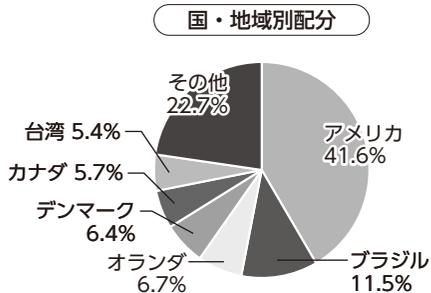
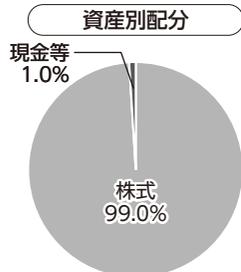
(組入銘柄数：32銘柄)

	銘柄	国	業種/種別	比率(%)
1	MERCADOLIBRE INC	ブラジル	一般消費財・サービス	8.3
2	ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	6.7
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	情報技術	5.4
4	SHOPIFY INC - CLASS A	カナダ	情報技術	4.7
5	DEERE & CO	アメリカ	資本財・サービス	4.7
6	BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	インドネシア	金融	4.6
7	TESLA INC	アメリカ	一般消費財・サービス	4.4
8	MODERNA INC	アメリカ	ヘルスケア	4.2
9	HDFC BANK LIMITED	インド	金融	4.1
10	ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	アメリカ	ヘルスケア	4.0

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等



※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータはベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものであり、運用報告書（全体版）とは異なる場合があります。

292005

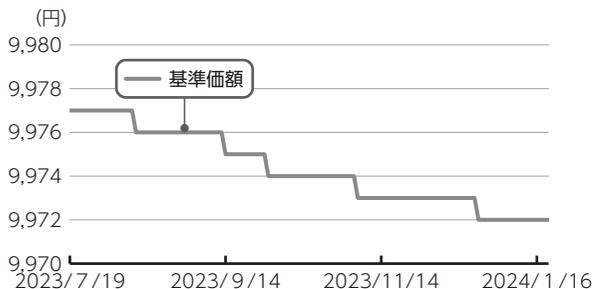
2024年1月19日現在

組入上位ファンドの概要

▶ マネー・マザーファンド

基準価額の推移

2023年7月19日～2024年1月19日



1万口当たりの費用明細

2023年7月20日～2024年1月19日

当期において費用が発生していないため、費用明細は作成していません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1銘柄)

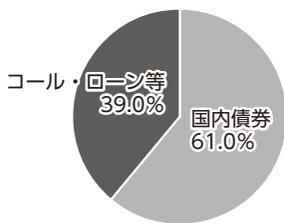
	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	第1199回国庫短期証券	債券	日本	国債	61.0
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

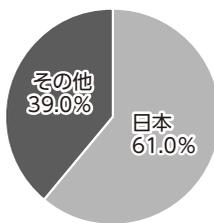
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

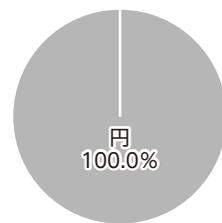
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。